

2. 情報館本館施設の概要（令和3年度4月1日現在）

開館	平成8年7月27日	
位置	厚岸郡厚岸町宮園1丁目1番地	
建物構造	鉄筋コンクリート造2階建	
建設面積	1階 996.9 m ² 2階 433.14 m ² 計 1,428.49 m ²	
事業費	平成6年度 設計委託	20,394,000 円
	平成7年度 本体工事	604,177,400 円
	付帯工事	106,553,500 円
	工事監理委託	4,944,000 円
	備品購入費	59,997,000 円
	図書・視聴覚資料	40,258,000 円
	用地費	12,800,000 円
	設備	一般図書コーナー45,000冊収容／児童図書コーナー10,000冊収容 閉架書庫 55,000冊収容／雑誌 107誌・新聞 7紙 おはなしコーナー／紙芝居舞台 3台 検索コーナー／OPAC用端末1台・情報検索性用パソコン3台 情報プラザ／飲食ができる談話室。OPAC用端末1台 情報館ホームページ端末1台 AVコーナー／6ブース（DVD機器5台 DVD兼LD機器1台 VHS機器3台 カセット1台 レコードプレーヤー1台） コンピュータ実習室／パソコン8台 （視覚障害者用音声ナビゲーター・ソフト付） 視聴覚室／階段式固定席 50席 プロジェクター2台 DVD・BD 35mm映写機2台 16mm映写機2台 LD・VTR・CD スライド映写機2台・レコードプレーヤー 会議室／40人規模の会議の開催が可能。 視聴覚室と同様の装置の使用が可能。 ※視聴覚室・会議室同時使用／壁の移動で120人規模の映画会、講演会の開催が可能。ピクチャーレール20本 ギャラリー／展示パネル12枚
受賞	平成9年2月	北海道赤レンガ建築賞（北海道）
	平成9年6月	照明普及賞（社団法人照明学会）
	平成14年5月	公共建築賞優秀賞（社団法人公共建築協会）

3. 情報館の特徴

- 1 電算化により本館、分館、図書館バスの資料を一元管理。
- 2 地域の活性化を図るため、利用される情報館を目指す。
釧路管内の住民に利用を開放。
- 3 電子情報の充実
 - (1) CD-ROM検索パソコンを無料開放。(開館から H27 年度)
 - (2) 大型画面による電子掲示板で行事、催し物案内。
 - (3) マルチメディア情報(厚岸町の情報)端末の設置。
 - (4) インターネットの無料開放(1日1時間まで)。
 - (5) ホームページによる情報発信。
- 4 視聴覚資料の充実
 - (1) CD、ビデオ、DVD(貸し出し可能なもの)、カセットブックの貸出。
 - (2) AVブースでのDVD、BD、LD、CD、ビデオ、カセットの個人視聴。
- 5 視聴覚室の充実
 - (1) 35mm映写機、16mm映写機をそれぞれ2台備え、各種映画会を実施していたが、平成29年度に35mm映写機1台が故障となり、映写機での映画を断念。修理については、見通しが立っていない状況である。
 - (2) DVD、BD、LD、ビデオ、パソコンをプロジェクターでスクリーンに表示することができる。H28年12月からHDMI形式での利用が可能となる。
 - (3) プロジェクター、スライド映写機などで各種講演会に対応できる。
 - (4) 階段式に固定席50席を設置し、ゆったりと映画を楽しむことができる。
 - (5) 視聴覚室、会議室の境界壁の移動で120席の映画会、講演会が開催可能。
- 6 コンピュータ実習室の設置
 - (1) 町民の情報リテラシー教育を実施。8台のパソコンでIT講習(初心者向けパソコン教室、ワード、表計算、インターネット、年賀状など)の講習会を開催。外国人研修生へのパソコン利用の支援を実施。
 - (2) 視覚障害者が自ら使用することができる、音声ナビゲーター・ソフトのあるパソコンを設置。
- 7 資料の充実
 - (1) 新刊見計らい送本による、迅速な新刊本の提供。
 - (2) 豊富な新聞、雑誌の購入。新聞7紙、雑誌107誌。

4. 情報館の電子サービス

1 図書館管理システムの電算化

- (1) 本館、分館、図書館バスでの業務の電算化による資料の一元管理
 - ① 本館と分館 光回線を利用して本館サーバ機で集中管理。貸出状況のリアルタイム処理。
 - ② 図書館バス 出勤日の朝、ノートPCに貸出状況、予約データ等を吸上げ、帰館後にデータの落とし込みを行う。全館の貸出状況、利用者情報、図書情報の検索が現地で行うことができる。
- (2) 新刊見計らい送本システムの導入による迅速な新刊提供
 - ① TRCマークの購入
利点：受入資料については、TRCマークのダウンロードによりデータを作成。またTRCが作成した書誌データ約340万件を、図書館システムとの連携により検索することができる。
 - ② 新刊送本システムの導入で、新刊図書が毎日、日本出版販売（日販）から情報館へ直送されてくる。
利点：一般書店と同じ速さで新刊図書が納品され、現物を見て選書できる。①のTRCマークの購入と相まって、新刊図書を発行後1～2週間で利用者に提供することができる。
- (3) TOCCTAマークによる視聴覚データを使用
CDの現物をTOCCTAに送付ののちCDデータが作成されSaaSシステムからインターネット経由でデータを抽出しCDの目録を作成する。
利点：収容曲名、演奏者名、作曲者名などで検索できる。

2 インターネットの利用

- (1) 利用者開放
 - ① 検索コーナーにあるPC3台（Windows）を利用者に開放。
 - ② 光回線を使用。
 - ③ インターネット利用は無料。
 - ④ Wi-Fi 無料開放（申込み時 ID、パスワード発行）
- (2) 職員の利用
 - ① 事務室内のPCでレファレンス用として利用。
 - ② 道立図書館をはじめとして、道内公共図書館の蔵書検索、相互貸借。
 - ③ オーロラネット（北海道新聞社データベース）、ニフティサーバと法人契約。
オーロラネットは主に北海道新聞記事の検索。ニフティは人物、雑誌記事等の検索に利用。

3 ホームページの開設

- (1) 情報館のPRと利用者サービスを目的にホームページを開設
 - ① 新着図書を受入から6週間表示

- ② 情報館からのお知らせ、行事や展示の案内
- ③ スタッフ日記（毎週更新）

4 インターネットによる資料検索システム

- (1) 情報館ホームページにアクセスして情報館資料を検索することができる。
 - ① 図書資料については、書影（表紙画像）を表示
 - ③ 予約や貸出・予約状況照会、お気に入りリストを表示

5 利用者用資料検索システム（OPAC）とホームページの情報提供

- (1) タッチパネル方式で利用者資料検索システム（OPAC）と情報館ホームページの情報を提供している。

6 検索コーナー

- (1) 検索コーナーにOPACとインターネット用PC3台を設置。
- (2) インターネットを無料（1日1時間まで）で利用でき、Web上の情報データを検索できる。
- (3) タブレット端末1台設置し、館内で資料検索、行政資料（PDFファイル）を閲覧できる。

7 情報プラザの情報端末

- (1) 情報館玄関横に飲食、歓談自由なスペース（情報プラザ）をつくり、OPACと情報館ホームページ端末を設置。
- (2) 情報館ホームページ端末からは、リンク先の厚岸町役場や厚岸町教育委員会、海事記念館、水鳥観察館などのホームページも見ることができる。

8 玄関風除室電子掲示板

玄関に情報館案内として 32 インチ大画面のPCディスプレイを設置。プレゼンテーションソフトで行事案内、図書館カレンダーを放映。

9 視覚障害者用音声ナビゲーター・ソフトを入れたパソコンの設置

コンピュータ実習室の全台に視覚障害者用音声ナビゲーター・ソフトを導入。視覚障害者が自分自身でパソコンを操作し、インターネットなどを利用できる。

10 コンピュータ実習室

8台のPCで町民向けの各種講座を実施。初心者向けIT講座（ワード、表計算、年賀状、高齢者向け体験講座など）、応用編、外国人研修生向け講習を実施。